

「安全・安心な社会に向けて事故防止の在り方を考える集い」

仕事と組織の垣根を超えて集まった仲間達によるメッセージ

今年4月、JR西日本福知山線で、亡くなった方107人、負傷された方が500人以上という痛ましい脱線事故が発生しました。そのような事故が起こるたび、事故調査委員会による原因究明や警察や検察による刑事責任の追及が行われます。しかし、その結果、本当に何が原因で事故が起ったのか、どうしたらそのような事故がなくせるのかが明らかにされてきたかというと、必ずしもそうではないように思えます。

このようなことでは、本当に悲惨な事故や重大な事故を防ぐことはできないのではないか、事故の原因調査や責任追及の制度や方法を根本的に改めていかなければならないのではないか、そういう問題意識から、工学や心理学などの事故原因調査の専門家や、法学の専門家など様々な立場の人人が集まりました。そして、立場や専門の違いを超えて意見を出し合い、何が問題なのか、どうしたら良いのかを話し合いました。

その中で考えたこと、話し合ったことを少しでも多くの人達に聞いてもらい、さらに多くの意見を出してもらうために、職業や組織の垣根を超えた集まりを開くことにしました。事故防止の問題を考える人達の輪をもっともっと大きなものにし、安全・安心な社会に向けての力強いメッセージを発していきたいと思っています。多くの方々のご来場をお待ちいたしております。

・日時：12月10日（土） 14：00～17：00

・会場：如水会館2階スターホール（東京都千代田区一ツ橋2-1-1）

地下鉄東西線：竹橋駅下車1b出口徒歩4分

地下鉄半蔵門線／都営地下鉄三田線／都営地下鉄新宿線：神保町駅下車A8出口徒歩3分

・主催：桐蔭横浜大学法科大学院・コンプライアンス研究センター

「事故防止のための法制度研究会」

東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー17階（私書箱98号）

Tel：03-5775-0654

・参加費：無料

・申し込み方法：氏名・住所・勤務先（学校名）・電話番号・Eメールアドレスを記入の上、
crc@cc.toin.ac.jpまでお申し込み下さい。なお、定員になり次第締切らせて頂きます。

・パネリスト：

畠村洋太郎	工学院大学教授	機械工学（失敗学）
岡本浩一	東洋英和女学院大学教授	社会心理学
向殿政男	明治大学理工学部長・教授	情報科学
廣瀬久和	東京大学大学院教授	消費者法・民法
川出 敏裕	東京大学大学院教授	刑事訴訟法
郷原 信郎	桐蔭横浜大学法科大学院教授	経済刑法（コンプライアンス論）

当プログラムは、文部科学省の「法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム」に基づいて桐蔭横浜大学法科大学院に交付される大学改革推進等補助金により運営されています。